



Lecture series

<第2回>

感情脳 感情における扁桃体の役割

平成26年6月25日(水) 15:00~16:15

京都大学附属図書館1階
ラーニング・commons

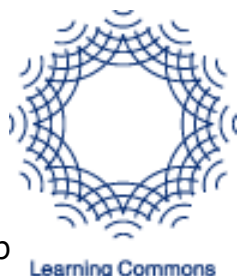
(京都大学 学部生・院生対象)



佐藤 弥 准教授
(京都大学白眉センター)

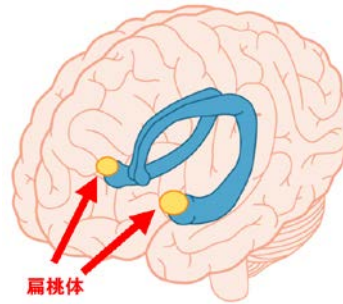


問合せ先：京都大学附属図書館 参考調査掛
TEL:075-753-2636 / e-mail:ref@kulib.kyoto-u.ac.jp



今回のテーマ

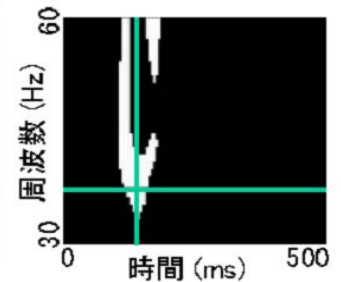
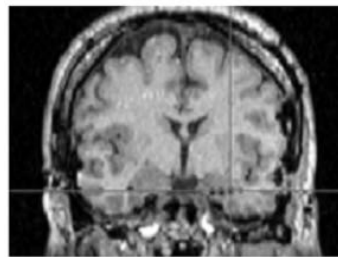
感情は、我々の生き方を規定する重要な心のはたらきである。しかし、その心的メカニズムは明らかではない。神経科学研究は、感情の神経基盤として扁桃体の関与を示し、その情報处理的役割を解明しつつある。本発表では、感情における扁桃体の役割を調べた我々の一連の研究を紹介する。脳画像研究から、扁桃体が、感情刺激の自分にとっての意義を評価する過程に関わることが示された。深部脳波研究・損傷研究から、扁桃体の感情処理が、すばやく無意識の段階で起こることが示された。また脳画像研究から、感情刺激の処理において、扁桃体からの出力が脳内各所の活動を調整することが示された。こうした知見から、感情において扁桃体が、すばやく無意識で刺激の意義を評価して適応的反応を喚起するという重要な役割を果たすことが示唆される。



扁桃体の位置



ヘビを平気で掴む
扁桃体損傷サル



表情に対する扁桃体の深部脳波記録

佐藤 弥 准教授 自己紹介

京都大学白眉センター特定准教授。京都大学教育学部卒業，同大学大学院教育学研究科博士課程修了，教育学博士。日本学術振興会特別研究員，京都大学大学院文学研究科COE研究員，京都大学霊長類研究所比較認知発達（ベネッセコーポレーション）研究部門准教授を経て，現職。専門は，認知神経科学および実験心理学。表情を通じた感情的対人相互作用の心理神経メカニズムを研究している。



研究室での生理計測の様子



脳画像装置